

宿毛市における魚食普及活動

宿毛漁業指導所 大西 帆希

1 要約

地域の水産業や魚食文化への関心を高めるため、当所では、すくも湾漁業協同組合（以下、すくも湾漁協という）が主体となって行う、魚食普及活動を継続的に支援している。令和6年度は宿毛市内の9校、計292名の小中学生に対して行われた、魚食普及活動を支援した。

活動当日はすくも湾漁協女性部から郷土料理の調理指導が行われ、その後に当所と宿毛市立給食センター職員が管内の漁業と魚の栄養に関する講義をそれぞれ行った。

活動実施後に宿毛市役所が一部の小中学生を対象に実施したアンケートの集計結果では、多くの児童が授業を受けたことで、宿毛の魚や水産業に対して興味を持ち、「魚の調理ができて楽しかった」、「魚が好きではなかったが、今回の授業を通してまた食べたいと思った」などの肯定的意見が多数見られ、魚食普及活動の効果を実感した。

2 背景及び目的

宿毛湾周辺地域の基幹産業である水産業は、地元への水産物の供給と食文化を支えている。リアス式海岸が連続する沿岸部は、穏やかな海域となっており、その特性を利用したマダイ、ブリ、クロマグロ等の養殖が盛んである。一方で、沖合は黒潮分岐流と瀬戸内海系の海水が混合することで、県内屈指の好漁場となっており、中・小型まき網、定置網、釣り及び曳縄等の漁船漁業によって、いわし類、あじ及びさば等が漁獲されている。また、地元では水産物を活用した魚食文化が根付いており、鯛めしなどの地元ならではの郷土料理が存在する。

このような地元の水産業と魚食文化を地域の子どもたちに知ってもらうことは、地域の水産業の存続を図り、魚食文化を次世代に継承するうえで重要である。そこで、すくも湾漁協が主体となり、宿毛市役所、宿毛市立給食センター及び当所が連携し、地元の小中学生に対し、地域の水産業及び魚食文化に対する関心と知識を深めてもらうことを目的とした魚食普及活動の支援を実施した。

3 普及の内容及び特徴

活動当日は、すくも湾漁協女性部から児童・生徒に対して、鯛めしや鯛のあら汁及びキビナゴのほおかぶりなどの調理の指導が行われた（図1、2及び3）。調理後、当所と宿毛市立給食センター職員が管内の漁業と魚の栄養に関する講義をそれぞれ行い、調理した料理を実食した（図4、5及び6）。

また、当所は宿毛市役所が魚食普及活動後に実施した小中学生へのアンケート調査の集計を行い、魚食普及活動の効果を調べた。同市内の一部の小中学校を対象としてアンケート調査を実施し、142名の回答を得た。



図1. 調理実習の様子



図2. 鯛めし



図3. キビナゴのほおかぶり



図4. 宿毛地域の水産業についての講義



図5. 当日の献立



図6. 実食の様子

4 成果及び活用

令和6年度の宿毛市における魚食普及活動は表1のとおり9校、292名が対象となった。活動後、「魚の調理ができて楽しかった」、「魚が好きではなかったが、今回の授業を通してまた食べたいと思った」などの肯定的な感想が多数得られた。

また、宿毛市役所が142名を対象に実施したアンケートを当所が集計した結果(表2)、「今回料理を作ってみて、家でも作ってみたいと思いましたが」という問いに対し、141名中129名(91% ※₁)が「作ってみたい」と回答した。他にも、「今回授業を受けて、家でも魚を食べたいと思いましたが」という問いに対し、140名中133名(95% ※₂)が「食べたい」と回答しており、魚食普及活動の効果を実感した。

一方で、「宿毛ではどのような種類の魚が水揚げされているか知っていましたか」という問いに対しては、142名中73名(51%)が「知らなかった」と回答した。さらに、「宿毛ではどのような漁業が行われているか知っていましたか」という問いに対し、142名中73名(51%)が「知らなかった」と回答するなど、魚食普及活動の中で、当所が担当している管内の漁業に関する講義の重要性を感じた。

また、この課題への対応策として、可能であれば小中学生と共に料理を美食し、当所職員と水産業についての話をする機会を設ければ、管内漁業に対して理解が深まると思われた。

令和6年度水産白書によると、我が国における水産物消費量は、平成13年を境に年々減少しているのが現状である。当所が行う魚食普及活動により、地元の小中学生が水産物や水産業及び魚食文化に関心を持つための一助となれば幸いである。

※₁: 1名回答無し ※₂: 2名回答無し

表1. 令和6年度の宿毛市における魚食普及活動の実施状況

実施日	実施校	参加人数
9月10日	大島小学校	6年生15名
9月24、26日	宿毛小学校	5年生61名
10月10日	咸陽小学校	6年生26名
11月1日	平田小学校	5年生15名
11月20日	山奈小学校	6年生21名
12月11日	小筑紫小学校	5・6年生28名
7月5日	宿毛東中学校	1年生19名
10月1、2日	片島中学校	1年生47名
11月13、14日	宿毛中学校	1年生60名
計	9校	292名

表2. アンケート集計結果

質問内容	回答	
1. 今回料理を作ってみて、家でも作ってみたいと思いましたが (n=141)	作ってみたい : 129名 (91%)	作りたくない : 12名 (9%)
2. 今回授業を受けて、家でも魚を食べたいと思いましたが (n=140)	食べたい : 133名 (95%)	食べたくない : 7名 (5%)
3. 宿毛ではどのような種類の魚が水揚げされているか知っていましたか (n=142)	知っていた : 69名 (49%)	知らなかった : 73名 (51%)
4. 宿毛ではどのような漁業が行われているか知っていましたか (n=142)	知っていた : 69名 (49%)	知らなかった : 73名 (51%)